

令和5年度学校経営計画書

学校名 三次市立十日市小学校
校長名 古本 宗久

I 学校の状況

学級数	21	児童数	584名	教職員数	58名
メールアドレス	tohkaichi-e@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/elementary/tokaichi/				

II 学校教育目標

○ 高い志をもち 夢の実現に向けてたくましく生きる児童の育成

III ミッション（地域社会における自校の使命・存在意義）

- ミッション 学校に関わる人が幸せになるための仕組みになる。
- ビジョン 人が輝き、心が動く学校を創る。
- 経営理念 大切な人に誇れる学校であり続ける。

IV 重点事項（努力点）

- 観を磨く 変容型ファシリテーションによる授業改善と、児童の多様な状況に応じた支援を進める。
- 対話を紡ぐ 児童のエージェンシーを育て、具体的な行動により児童個々と集団に好影響を与える。
- 組織を繋ぐ 他者と協働するチームワーキングにより、学校の創り手となりリーダーシップを育てる。
- 働き方を宿す スモールイノベーターとして努力の質を考え、自分を変革しエンゲージメントを高める。

V 中心価値・行動規範（十小バリュー A to E）

- Act Boldly 大胆に行動する。
- Build Equal Trust 信頼し、信頼される。
- Create the First はじめてをつくる。
- Do a Professional Work プロフェッショナルであれ。
- Express as a Team チームとして取り組む。

VI 現状分析

本校は、「広島県小学校教科担任制推進事業」「広島県小・中・義務教育学校生徒指導サポート実践校事業」「小学校低学年段階からの学ぶ喜びサポート校事業」の指定を受け、実践的な研究を進めてきた。

学習指導では、TKFモデル「T・創る」「K・語る」「F・振り返る」を児童主体の学びを促す授業研究の枠組みとして国語科に援用し、話合いのコツ等により児童の思考力・表現力は高まりを見せている。

また、生徒指導では、中間的集団を承認する活動や、課題を有する児童への言葉掛けや支援の仕方等を工夫した結果、生徒指導上の課題は減少している。

働き方では、学年主任会で当面する課題を検討し、分掌部では少人数で継続的な課題に対応するなど、コアチームで取組を進めている。教職員のエンゲージメントは年々向上し、在校時間は縮減している。

しかし、学習指導では、国語科で培った対話活動を他教科等に広げる取組や、理科の学習に課題があり、生徒指導では、困難な状況を有する児童が自分らしく学校生活を送るための環境が十分ではない。

教職員においては、児童のエージェンシーを育てるために、教職員自身のエージェンシーを高めることが重要である。働き方では、学校経営に参画し文化と仕組みを創るために、継続的に組織開発を進める必要がある。令和4年度の成果と課題を踏まえ、本年度は5点を重点事業として学校経営を進める。

(重1) 学力向上充実事業 ファシリテーションによる児童の思考の流れを繋ぐ、TKFモデルの活用と充実
(重2) 家庭学習充実事業 メタ認知を取り入れた家庭学習の質的な向上と、児童の自主学習のデザインの支援
(重3) 体力づくり充実事業 継続的な体力の向上と、運動に親しみ課題を達成する楽しさを実感する活動の導入
(重4) 生徒指導充実事業 課題予防的な生徒指導と、個人と集団のウェルビーイングを高める環境づくり
(重5) 働く人支援充実事業 心理的安全性の高い職場づくりと、自己を受容しお互いを尊敬する働き方の更新

項目	三次市学力到達度検査		生徒指導上の諸問題			教職員の働き方	
	全国を上回った科目	三次市を上回った科目	暴力行為	いじめ	不登校	勤務時間外の月平均在校時間	月45時間以内
令和2年度	14/20	5/20	4	1	5	46時間07分	50.1%
令和3年度	17/20	9/20	12	0	4	36時間46分	71.9%
令和4年度	17/20	13/20	3	0	2	25時間26分	91.5%

Ⅶ 中期経営目標及び短期経営目標（令和5年度）

中期経営目標		短期経営目標	具体的な取組・方策
確かな学力	指導の個別化により、基礎的な知識・技能を習得させ、「読むこと」「書くこと」を重視し思考力・判断力・表現力を育成する。	学力向上充実事業	<p>ファシリテーションによる授業改善と、児童が学習状況のモニタリングにより、基礎学力の定着と活用する力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○TKFモデルによる授業づくりを学年間で共有し、改善を図りながら児童の思考力の向上を図る。 ○表現力を高めるために、まとめと振り返りの質を意識した学習を展開し、成果を自覚化させる活動を進める。 ○朝ドリルの時間等を活用し、読み取り方の指導や初読の文章に慣れていく指導を継続して行う。
		家庭学習充実事業	<p>メタ認知を取り入れ、児童が自分で家庭学習をデザインし、主体的な学びや深い学びを促す支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○紙媒体やタブレットで、メタ認知を取り入れたプリント・ドリル学習を行い、児童が客観的に振り返る活動を進める。 ○量から質へ変換し、児童の学習進度や認知スタイルに応じた支援や、ニーズに応じた学習のデザインを支援する。 ○教職員間や児童間で自主学習について交流し、創造的な模倣や試行等、内容や方法の工夫を重ね、成果に繋げる。
豊かな心	自分らしく生活し、学校文化を創るために、責任ある行動をとり、自己効力感を高め、お互いを大切にする人間関係を育成する。	生徒指導充実事業	<p>社会生活に繋がる自律に向けて、児童の抱える多様で複雑な状況に応じて、個人と集団のウェルビーイングを高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「社会規範を守る」基準を明確にし、児童の呼び方や接し方等、学校が公共の場である意識をもって指導に取り組む。 ○児童個々の抱える状況を把握し、保護者と連携しながら学校生活を安心して過ごせる環境を確保する。 ○学年や学級で児童が自分らしさを自然に表出し、学校生活を落ち着いて楽しく過ごせる環境をつくる。
		絆づくり推進事業	<p>児童が責任をもって協働する、異年齢交流や全校活動を通して、エージェンシーを育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学級でソーシャルスキルに取り組み、人間関係づくりやコミュニケーションの取り方を学び、日常生活に生かす。 ○児童の言動や行動が、他者から認められていると感じられるように時間を置かず承認し、自己肯定感を高める。 ○児童が企画・運営した行事等を、共同エージェンシーにより助言・支援し、児童が協働して歩む市民性を育てる。
健やかな体	継続的で個別に実践できる体力づくりの推進により、健康・安全で活力ある学校生活を送る。	体力づくり充実事業	<p>児童個々の運動量を確保する活動を通年で計画し、課題を達成する楽しさを実感し、体力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新体力テストや体育の運動種目の個人記録を基に、自己目標を設定し、意欲を高め、体力の向上を図る。 ○授業前や業間に、縄跳びやサーキットトレーニング等に取り組み、記録に挑戦するなど、継続して運動に親しむ。 ○タブレット記録カードを活用し、児童が挑戦の仕方を選び、変化や成長を他者に伝えるなど、表現力を高める。
信頼される学校	教職員の日常的な行動を通して、学校・家庭・地域との連携を深め、民主主義を育てる学校づくりを進める。	業務改善推進事業	<p>チームワーキングを実践し、中期的な視点で創発的に業務を進め、深掘と探索による職能成長を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教職員の裁量を拡大し、学校の課題に応じて少人数のチームで企画を創り、施策として実行する。 ○現在実施している業務を深堀と探索の視点で見直し、アイデアを出し行動化し、児童の成果等に繋げる。 ○チームの一員としてリーダーシップを発揮し、意見を交換し、お互いに影響を与えながら職能成長を図る。
		働く人支援充実事業	<p>教職員がスモールイノベーターとなり、お互いを尊敬し、対話を通して個の成長と組織の成熟を促す働き方を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○気付きを他者へ伝えながらエンゲージメントを高め、仕事へのやりがいやwell-beingを高める環境づくりを進める。 ○教職員の在校時間を分析し、物的・心的な生産性を高める働き方を組織的に支援する。 ○「観を磨き」「対話を紡ぎ」「組織を繋ぐ」「働き方を宿す」研修を行い、組織開発と人材育成を図る。

令和5年度学校経構想図

MISSION
学校に関わる人が幸せになるための仕組みになる
VISION
人が輝き、心が動く学校を創る

広島県の方針
「ひろしま未来
チャレンジビジョン」
「人づくり」への挑戦
**広島版「学びの革新」
アクション・プラン**
広島で学んで良かったと思える、日本一の教育県の創造

学校教育目標
高い志をもち 夢の実現に向けてたくましく生きる児童の育成
十日市中学校区小中一貫教育目標
夢をもち、志を立て、やるべきことをやりきる児童・生徒の育成

三次市教育ビジョン
みよし結芽人
～幸輝心～
高い志をもち 夢や目標の実現に挑戦し 自立を図るとともに 他者と協力し 住み続けたいまち三次の実現に貢献する 心豊かで たくましい ひとづくり

保護者・地域の願い
「歴史と伝統を引き継ぎ誇りをもって行動する子ども」
「社会の一員として積極的に貢献する志をもった子ども」
「子どもの笑顔あふれる安全・安心な学校」

めざす子ども像
ともに学びあい、高まりあう子ども
おもいやりのある子ども
がんばりを深め行動する子ども
いつも明るく元気な子ども
チャレンジ（挑戦）する子ども

中心価値・行動規範
Act Boldly
Build Equal Trust
Create the First
Do a Professional Work
Express as a Team

めざす教職員像
観を磨く 対話を紡ぐ 組織を繋ぐ 働き方を宿す

確かな「学び」

豊かな「育ち」

